

2018年度 年次報告書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA
Annual Report 2018-2019



Message

ご挨拶



令和元年、新たな時代が始まりました。ジョナサン・ノットが音楽監督に就任して6年目に入り、私たちも新たな収穫の時期を迎えています。

「ジョナサン・ノットと東京交響楽団」は、斬新なプログラムにチャレンジする姿勢やその演奏内容が、各方面から高い評価をいただき、ひとつのブランドとして認められるようになってまいりました。この結果として、2018年度当楽団の経営は黒字となり堅実性を増しております。

これはお客様やご支援いただいた皆様のおかげであることはもちろんのこと、数多くの公演にも、ひとつとして気を緩めることなく、真摯に取り組んだ全楽団員の努力の結果でもあります。当楽団の評価をより一層高める一方、楽団員の原点ともいえる演奏する喜びを守るべく、その演奏環境改善も強く進めてまいりたいと考えております。

引き続き皆様のあたたかいご支援をお願い申し上げます。

東京交響楽団

理事長 澤田秀雄

2018年度活動概要

定期演奏会

2018年度も音楽監督ジョナサン・ノット&東京交響楽団のコンビが、音楽界で注目を集めました。エルガー：オラトリオ「グロントピアスの夢」(7月定期)では、ノットは母国の宗教的作品で色彩感溢れる流麗な音楽を聴かせた。(江藤光紀)”。ラフマニノフ：交響曲第2番(11月定期)では“ノットの演奏は洗練さと壮麗さをもった奇跡的な熱演。(齋藤弘美)”など高い評価を得、当日の演奏はライブCDとして発売しました。

また、ヴァーレーズの独奏曲から大編成の作品、そしてR.シュトラウスの「英雄の生涯」という一見対極にある作品を繋げた12月定期をはじめとしたプログラミングの妙にも注目が集まりました。

正指揮者 飯森範親がウド・ツィンマーマンの衝撃作、歌劇「白いバラ」(演奏会形式、日本初演、6月定期)に挑み、その音楽による心理描写やゾフィー役のソプラノ角田祐子の胸を打つ透明な歌唱に聴衆から大きな拍手が沸きました。

客演では、世界が注目するロレンツォ・ヴィオッティ指揮によるヴェルディ：「レクイエム」、ポーランドの俊英クシシュトフ・ウルバンスキ指揮、ショスタコーヴィチ：交響曲第4番と、若手指揮者たちが長大な作品でその実力を余すところなく発揮しました。

東京オペラシティシリーズは、ベートーヴェン、ブラームスなど古典からロマン派を中心に組んだプログラムにより、定期会員数を大幅に増やしました。指揮の齋藤友香理、マクシム・エメリヤニチェフ、ピアノの北村朋幹、ヴァイオリンの山根一仁など才能あふれる若手の起用も話題となりました。

その他 主催公演

歌劇場のコレペティトウアとして音楽のキャリアをスタートさせた音楽監督ノットが、ハンマーフルエグを演奏しながら指揮した『フィガロの結婚』(演奏会形式、サントリーホールとミュージアム川崎)。指揮者、歌手、オーケストラが同じ舞台上でパフォーマンスを繰り広げるこのシリーズの中でも「これだけの歌だけでなく演技もできる歌手たちをそろえ、彼らを束ねあげたアイデア豊富でドラマチックかつ柔軟性のある指揮にノットの

オペラ指揮者としての素晴らしさを改めて実感した。」(山田治生)と、演奏会形式オペラの長所を活かした上演が成功を収めました。

40年以上に亘り、秋山和慶指揮の年末の公演として定着していた「第九と四季」を2018年度で終了しました。2019年度からはノット指揮の「第九」公演として再スタートします。

青少年育成 プログラム、 社会貢献事業

サントリーホールと共催でおこなっている「こども定期演奏会」は17年目を迎え、音楽監督ノットも出演し、子供たちの音楽に対する反応を楽しんでいた姿が印象的でした。文化庁戦略的芸術文化創造推進事業として採択された「フランチャイズ・オーケストラを中心とした市民のクオリティ・オブ・ライフの調査と向上のための事業」2年目は、川崎市のフランチャイズ・オーケストラとして活動している団体が、地域に根差した活動が地域に及ぼす影響について、科学的なデータ収集、分析を行い、報告書にまとめました。

八王子では、定期演奏会、アウトリーチ活動、ユースオーケストラの指導など多岐にわたって地域に根差した活動を続けています。

文化庁文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-では、東京・千葉・茨城・山梨の小学校を周り、オーケストラ公演のほか、事前のワークショップでは楽器のお話と演奏を行ない、本公演に向けた歌の練習、そして交流給食に参加しました。

依頼公演

また、新国立劇場では、オペラ「フィデリオ」「タンホイザー」「ウェルテル」、バレエ「白鳥と湖」「ラ・バヤデル」を担当し、特に飯守泰次郎芸術監督指揮によるオペラ「フィデリオ」は、海外オーケストラの日本公演も含む音楽誌の年間ベストコンサートTop10に入り、その内容が高く評価されました。

文化庁の委託事業として、日中平和友好条約締結40周年を記念した上海公演と杭州公演を、飯森範親指揮、中国の若手実力派ダン・シュウのヴァイオリンで行い、日中の文化交流の役割を果たしました。

Financial Report

財産・運営状況について

正味財産増減計算書の概要

(単位:千円)

科目	2018年度	2017年度	2016年度
経常収益計	1,362,973	1,322,658	1,351,315
内・事業収益	1,136,537	1,098,102	1,075,678
内・受取補助金	107,178	103,800	146,051
内・寄附金	112,313	113,132	122,529
経常費用計	1,294,400	1,263,361	1,380,417
当期経常増減額	68,573	59,297	△29,102

2018年度は収入面では、入場券収入が初めて3億円を超え、前年度に比べて依頼公演の公演数も増加したため事業収益が11億を超え、全体として6800万円の黒字となりました。

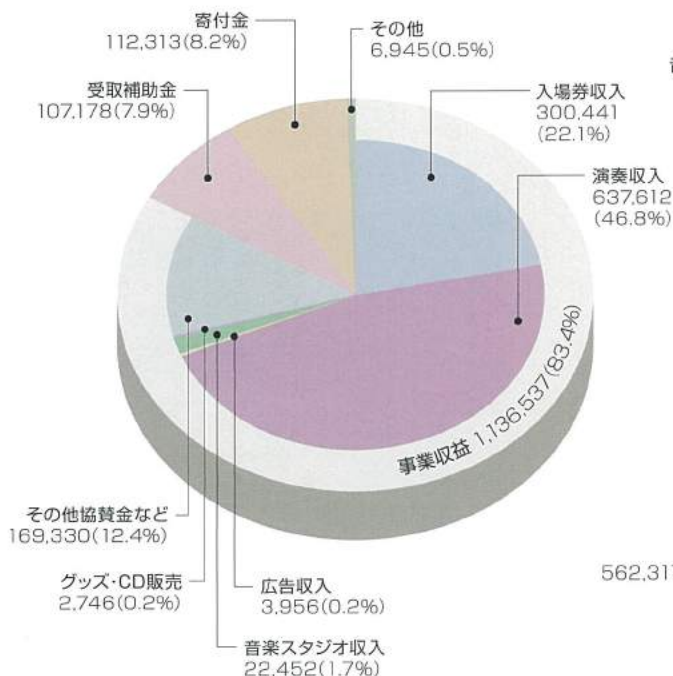
公的補助金や寄付金は大きな変動はありませんでした。

支出面では、自主公演にかかる支出は増えたものの、依頼公演に

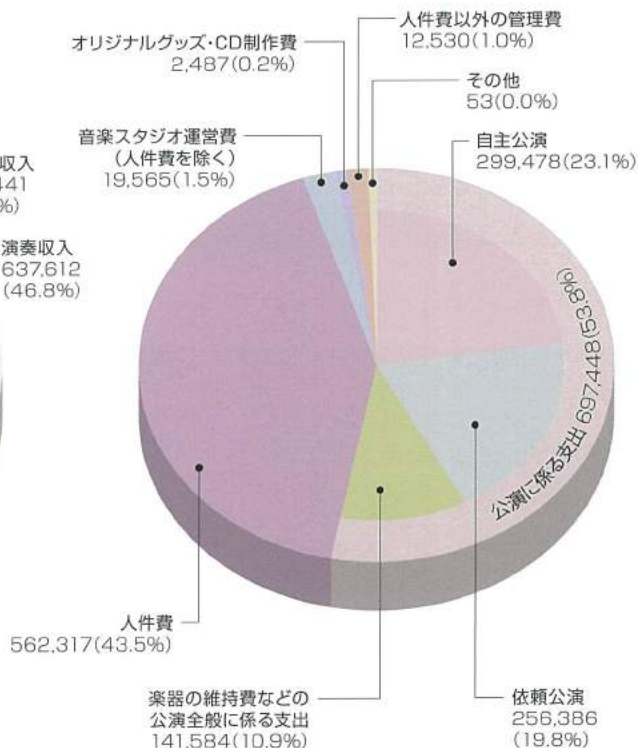
かかる支出を抑えることができたため、前年度から微増するにとどめることができました。

2019年度はさらなる入場券収入の増加と、寄付金額の維持、増額を課題として、営業活動にも力を注いで参ります。

収入(2018年度) **1,362,973** (単位:千円)



支出(2018年度) **1,294,400** (単位:千円)



演奏記録(全177公演) the 2018/19 Season

●自主公演(47回)

定期演奏会(第659回～第668回)	10回
川崎定期演奏会(第65回～第69回)	5回
東京オペラシティシリーズ(第103回～第108回)	6回
名曲全集(第136回～第145回)	10回
こども定期演奏会(第65回～第68回)	4回
特別演奏会	12回

●依頼公演(128回)

新潟定期演奏会(第107回～第112回)	6回
オペラ・バレエ公演	34回
音楽鑑賞教室・青少年のためのプログラム	29回
その他	59回

●その他の事業(2回)

録音	2回
----	----



キッズプログラム
ズーラシアンプラスwith東京交響楽団
2018年4月8日 ミューザ川崎シンフォニーホール



第662回定期演奏会 エルガー:オラトリオ「ゲロンティアスの夢」
指揮=ジョナサン・ノット テノール=マクシミリアン・シュミット メゾ・ソプラノ=サ
2018年7月14日 サントリーホール

新国立劇場 オペラ「フィデリオ」
指揮=飯守泰次郎 演出=カタリーナ・ワグナー
2018年5月(撮影:寺司正彦/提供:新国立劇場)



第660回定期演奏会 ツィンマーマン:「白いバラ」
指揮=飯森範親 ソプラノ=角田祐子 バリトン=クリスティアン・ミードル
2018年5月26日 サントリーホール



オペラ「フィガロの結婚」
指揮=ジョナサン・ノット バリトン=マルクス・ヴェルバ 他
2018年12月9日 サントリーホール



文化庁“文化芸術による子供の育成事業”
 柏市立風早北部小学校2018年6月11日／交流給食2018年5月31日



日中平和友好条約締結40周年記念 中国・上海公演
 指揮＝飯森範親 ヴァイオリン＝ダン・シュウ
 2018年8月 上海シンフォニーホール



「こども定期演奏会第67回～音楽と感情く泣いて～」
 指揮＝原田慶太楼 司会＝坪井直樹
 2018年9月24日 サントリーホール



新国立劇場 オペラ「タンホイザー」
 2019年1月(撮影:寺司正彦/提供:新国立劇場)



CD「ラフマニノフ:交響曲第2番」
 指揮＝ジョナサン・ノット



東京二期会公演 黛敏郎:オペラ「金閨寺」
 2019年2月 東京文化会館(撮影:三枝近志)



シャ・クック 他



八王子ユースオーケストラ指導/八王子市内小学校でのアウトリーチ活動

Members

サポート会員(2019年7月1日現在)

■法人会員

プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス
ハウステンボス株式会社

株式会社フェイス

ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人
株式会社伊藤総合事務所
株式会社インサイド・アウト
花王株式会社
環境ステーション株式会社

学校法人創志学園
株式会社ティーツー リミテッド
株式会社日本財託
ピーアークホールディングス株式会社
株式会社ベッパーフードサービス

ゴールド会員

株式会社青山メインランド
イーサポートリンク株式会社
川崎信用金庫
サントリーホールディングス株式会社
新菱冷熱工業株式会社
セントラル短資FX株式会社
社会医療法人財団石心会
玉川学園・玉川大学
玉の肌石鹸株式会社
中外製薬株式会社
株式会社TFDコーポレーション
株式会社鉄鋼ビルディング

株式会社トーションパートナーズ
西松建設株式会社
株式会社NIPPO
株式会社日本M&Aセンター
株式会社日本ボステム
株式会社パソナ
ヒノギ新薬株式会社
司法書士法人ふなざき総合事務所
株式会社ぶらう
丸紅新電力株式会社
ヤマザキビスケット株式会社
横浜自動車部品株式会社

シルバー会員

株式会社エステシア
株式会社NHKビジネスクリエイト
公益財団法人青梅佐藤財団
税理士法人おしゆみ総合会計事務所
学校法人順心広尾学園
松竹株式会社
城南信用金庫
有限会社青史堂印刷
月島食品工業株式会社

東京鉄鋼株式会社
日本宅配システム株式会社
株式会社野毛印刷社
久光製薬株式会社
本田技研工業株式会社
ミヨシ油脂株式会社
司法書士法人村田事務所
株式会社LALLヒューマンホールディングス

ブロンズ会員

NPO法人かわさき市民アカデミー
GVIDO MUSIC株式会社
酒蔵駒八 別館
株式会社シグマコミュニケーションズ
流山なかよし保育園

ニッシンエレクトロ株式会社
富士ゼロックス神奈川株式会社
前山歯科医院
株式会社ヤクワ

賛助企業

アサヒビール株式会社
東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程

政鬼運輸株式会社
山崎製パン株式会社

匿名4社

■個人会員

サークル50

磯村文靖
伊藤晴美
伊藤美樹
木暮紀子
澤田秀雄
清水尚彦
長瀬雅則

水野秀一
山本誠一郎
横川 端
依田 巽
渡邊秀男
匿名3名

サークル25

沖田陽子
鷺海量明
金山尚弘

山口 学
匿名1名

サークル10

荒木陽子
猪田隆文
伊藤 弘
井上孝昭
内山誠彦
梅沢麻衣
遠藤秀和
大城明幹
太田純子
岡 邦子
岡野一哉
梶井龍太郎
片山泰輔
金子 元
菊池光剛
小林 光
古丸 健
近藤和喜夫
斉藤脩司
佐々木真
佐藤大助
塩沢誠司
清水幹雄
高津麻子
高島琢己

田口之博
竹田 忍
千葉 清
塚田吉幸
戸川二郎
中澤守正
成瀬倉祥
浜 信昭
早川正希
原田美保子
アーネストM.比嘉
堀川将史
増岡聡一郎
村本京子
村本信幸
山口重雄
山口知子
山田長満
山本 明
吉川麗月
吉田治喜
吉村美恵子
米岡修一
渡邊健一
匿名14名

Tokyo Symphony Orchestra

公益財団法人 東京交響楽団

- 音楽監督 ジョナサン・ノット
- 桂冠指揮者 秋山和慶 / ユベール・スダーン
- 正指揮者 飯森範親
- 名誉客演指揮者 大友直人
- 永久名誉指揮者
..... アルヴィド・ヤンソンス♦ / 上田仁♦ / 遠山信二♦
- 名誉コンサートマスター 大谷康子
- コンサートマスター グレブ・ニキティン / 水谷 晃
- アシスタント・コンサートマスター 田尻 順 / 廣岡克隆

- 会 長 横川 端
- 理 事 長 澤田秀雄
- 副理事長 平澤 創
依田 巽
- 専務理事 大野順二
- 理 事 阿部武彦
池辺晋一郎
伊藤美樹
大橋 博
岡崎哲也
庄司 薫
永山 治
夏野 剛
南部靖之
福川伸次
藤原 洋
増岡聡一郎

- 監 事 磯村文靖
寺西基之
- 評議員長 金山茂人
- 最高顧問
- 評 議 員 梅沢一彦
鷲海量明
片山泰輔
西村 朗
星 久人
松木康夫
山添 茂
横川 竟
- 特別顧問 飯島延浩
福田紀彦
山田長満

- ### 1st Violins
- 木村正貴
 - 堀内幸子
 - 小川敦子
 - 加藤幸子
 - 立岡百合恵
 - 土屋杏子
 - 中村楓子
 - 森岡ゆりあ
 - 吉川万理
 - 大和田ルース

- ### Violas
- ◎青木篤子
 - ◎武生直子
 - ◎西村真紀
 - 多井干洋
 - 山廣みほ
 - 大角 彩
 - 小西応興
 - 鈴木まり奈
 - 永井聖乃
 - 松崎里絵

- ### Flutes
- ◎相澤政宏
- ### Flutes & Piccolos
- 高野成之
 - 濱崎麻里子

- ### Horns
- ◎上間善之
 - ◎大野雄太
 - ◎ジョナサン・ハミル
 - 阪本正彦
- ### Trumpets
- ◎佐藤友紀
 - ◎澤田真人
 - 野沢岳史
 - 松山 萌

- ### Timpani & Percussions
- ◎清水 太
 - ◎新澤義美
 - 武山芳史
 - 綱川淳美
- ### Harp
- ◎景山梨乃

- ### 2nd Violins
- ◎清水泰明
 - ◎服部亜矢子
 - ◎坂井みどり
 - 加藤まな
 - 福留史紘
 - 阿部真弓
 - 河堀あずさ
 - 塩谷しずか
 - 鈴木浩司
 - 竹田詩織
 - 渡辺裕子

- ### Cellos
- ◎伊藤文嗣
 - 川井真由美
 - 黄原亮司
 - 謝名元 民
 - 蟹江慶行
 - 樋口泰世
- ### Double Basses
- ◎加藤信吾
 - 北村一平
 - 久松ちず
 - 安田修平
 - 渡邊淳子
 - 笠原勝二

- ### Oboes
- ◎荒絵理子
 - ◎荒木奏美
 - 篠崎 隆
- ### Oboe & English horn
- 最上峰行

- ### Trombones
- ◎鳥塚心輔
 - ◎大馬直人
 - 住川佳祐
- ### Bass Trombone
- 藤井良太
- ### Tuba
- ◎渡辺 功

- ### Librarian
- ★武田英昭
 - 大和田浩明
- ### Stage Manager
- 山本 聡
 - 西岡理佐*
- ### 栄誉団員
- 井伊 準♦

- ### 楽団長
- 大野順二
- ### 編成局長 & パーソネル・マネージャー
- 藤原 真
- ### 事務室長
- 辻 敏
- ### 事務局
- 伊藤瑛美
 - △尾木貴雄
 - 梶川純子
 - 桐原美砂
 - 佐藤雄己
 - 高瀬 緑
 - 竹内裕子
 - △豊山 悟
 - 長久保宏太郎
 - 廣中憲士
 - 美濃部敦
 - 山田道子
- ### □本部長
- ### △部長

◎首席奏者 ○フオアシューピラー ★チーフ *研究員

(2019年7月31日現在)



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

1946年、第二次世界大戦によって中断された音楽文化の再建と、新しい舞台音楽の公演を目標に「東宝交響楽団」として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。

現代音楽やオペラの初演に定評があり、これまでに文部大臣賞、京都音楽賞大賞、文化庁芸術作品賞、モビル音楽賞、サントリー音楽賞、ミュージックペンクラブ音楽賞など日本の主要な音楽賞の殆どを受賞している。また、2013年には川崎市文化賞を受賞した。

舞台芸術創造活動活性化事業として文化庁の助成を受け、サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市とフランチャイズ、新潟市と準フランチャイズ、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団とパートナーシップ提携し、コンサートやアウトリーチなどを積極的に展開している。

これら地域に密着した活動の一方で、海外においても58都市で78公演を行い、国際交流の実を挙げてきた。また、新国立劇場では1997年の開館時からレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演に出演。さら

に、子どものための演奏会にもいち早く取り組んでおり、「0歳からのオーケストラ」「こども定期演奏会(サントリーホールとの共催)」は多方面から注目されている。

東日本大震災を機に、2011年5月から楽団員によるチャリティコンサート「Concert For Smiles」を定期的に行う。その募金は(公財)国際開発救援財団を通じて被災地に役立てられている。

録音や放送においても活発で、TOKYO SYMPHONYレーベル、N&Fレーベル、キングレコード、EXTONレーベル、日本コロムビア等から多数リリースし、テレビ朝日「題名のない音楽会」へレギュラー出演している。

2014年度シーズンより、ジョナサン・ノットが第3代音楽監督に就任。正指揮者に飯森範親、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、名誉客演指揮者に大友直人を擁す。

2016年に創立70周年を記念し、ウィーン楽友協会を含むヨーロッパ5カ国で公演を行う。また2018年8月には日中平和友好条約締結40周年を記念し上海・杭州にて公演を行い、日中の文化交流の役割を果たした。

公式サイト：<http://tokyosymphony.jp/>

～皆様からのご支援お待ちしております～

東京交響楽団の活動は個人・法人の皆様から寄せられるあたたかいご寄付とともに成り立っています。財政状況や定款、税制上の優遇措置についてはウェブ上でもご覧いただけます。

ご質問等ございましたら東京交響楽団川崎オフィス支援開拓本部までお問い合わせください。

公益財団法人 東京交響楽団

Tel:044-520-1518 <http://tokyosymphony.jp>

本部 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5

川崎オフィス 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階

2019年8月1日発行